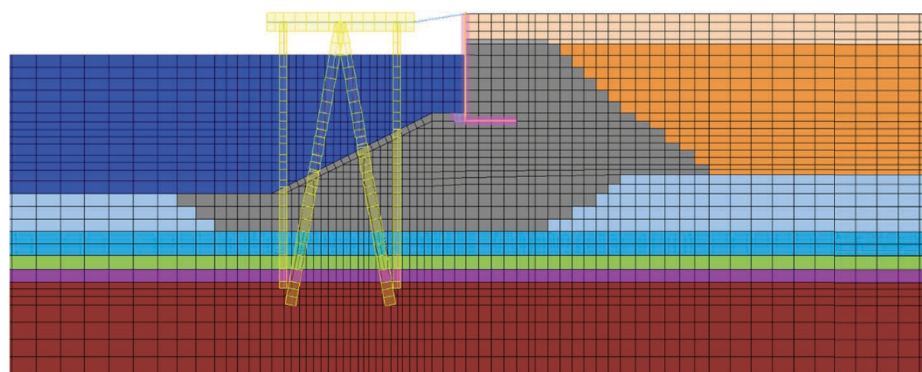
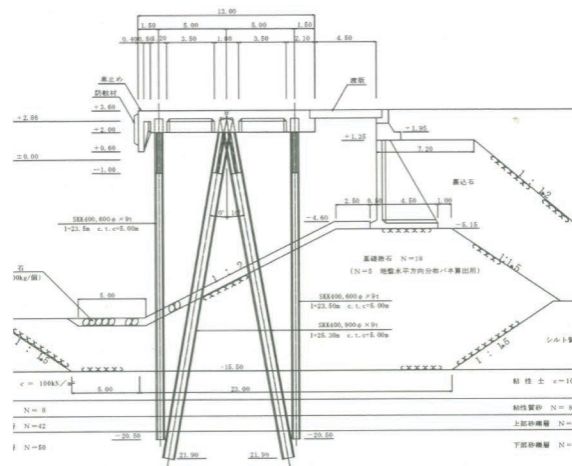


- レベル2地震動に対して、動的解析を用いて、棧橋の変形量と杭の損傷状態の照査

→ 検討断面と解析モデル

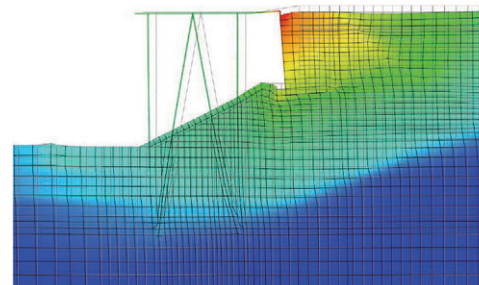


有限要素分割(主要部)

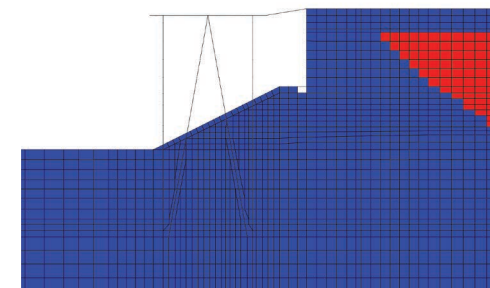
→ 解析結果

棧橋床版部
水平変位: 0.91m
鉛直変位: 0.14m

L型ブロック天端
水平変位: 2.18m
鉛直変位: 0.61m

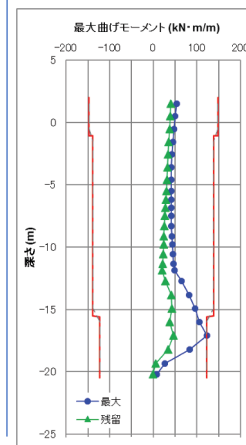


残留変形図(主要部)

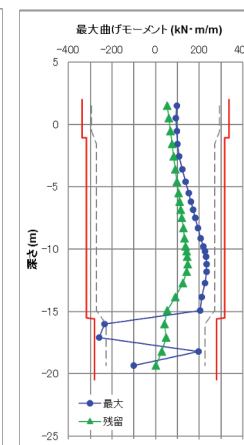


過剰間隙水圧比分布図(主要部)

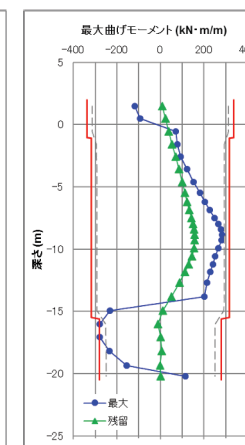
海側直杭



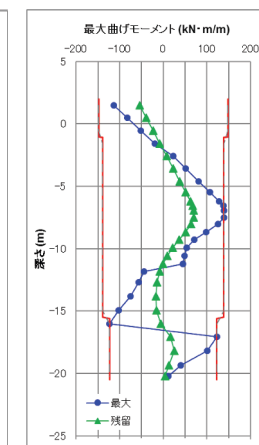
海側斜杭



陸側斜杭



陸側直杭

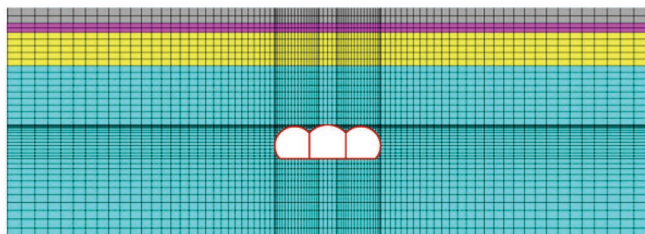


曲げモーメント分布図

[概要]

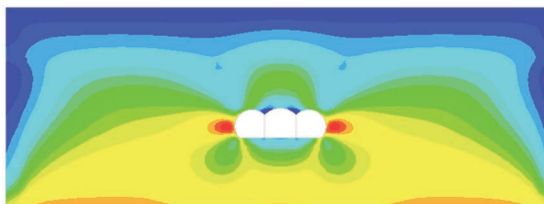
複素応答解析法：周波数領域解析であり、地盤の非線形を等価線形化技法を利用してFEM耐震解析方法で、地盤や構造物の相互作用を考慮した耐震解析を実施

→ 解析モデル 1

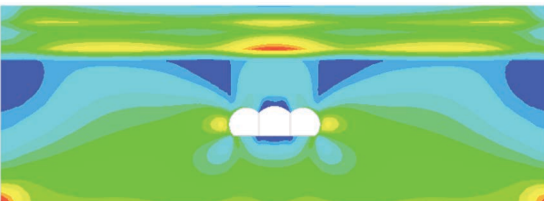


- ・伝達境界を利用した地盤の半無限性考慮
- ・地盤の非線形を等価線形で考慮
- ・様々な地中構造物適用可能
(トンネル, 上下水道, 地下鉄停車場)

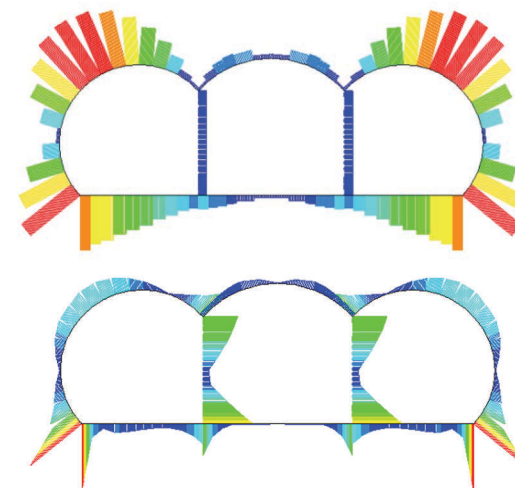
→ 地盤せん断応力図



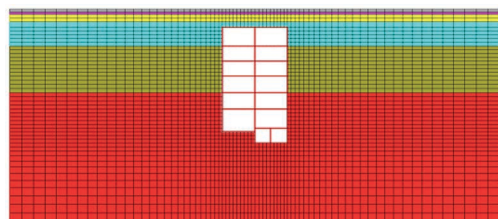
→ 地盤最大せん断変形率



→ 構造物断面力図



→ 解析モデル 2



→ 全体変位図



→ 地盤最大せん断変形率

